

早稲田大学ビジネススクール主催

IRのすべてがわかる 経営層と実務者のための2つのオープン講座開講

IRの実務がすべてわかるIR担当者のための

*I*nvestor
*R*elations workshop for
*O*fficers IRO ワークショップ

2008.5.7 - 7.23 (水曜日 全10回)

IRを活かしたよりよい経営をめざす経営層のための

*I*nvestor
*R*elations seminar for
*E*xecutives IRE セミナー

2008.8.21 (木) - 8.23 (土)

主催：早稲田大学ビジネススクール

(早稲田大学商学大学院総合研究所 WBS 研究センター)



はじめに

今日の企業経営にとって、資本市場とのコミュニケーションは最も重要な経営課題の一つです。「インベスター・リレーションズ(IR)活動の良否が企業評価を左右する」ことはいまや常識とも言え、また正当な企業評価の獲得は、企業防衛上からも必須の要素です。早稲田大学ビジネススクールでは、2004年から、企業の経営層・管理職の方々、また、企業内でIRの実務を担っている方々を対象としたIRプロフェSSIONALの養成を目標とした講座を開講し、すでに65名の方々が修了されて第一線で活躍しています。

2008年度は、これまでの実績を踏まえ、IRの実務の全てを理解して明日からIR実務を担える担当者を養成する「Investor Relations workshop for Officers (IRO ワークショップ)」と、企業経営にIRを活用し資本市場とのよりよい関係の構築を目指す役員・管理職などの経営層を対象とした「Investor Relations seminar for Executives (IRE セミナー)」の2講座を開講することといたしました。

IRO ワークショップ (Investor Relations workshop for Officers)

上場企業や上場を目指す企業のIR実務担当者や中間管理職向けの実践ワークショップです。

IRの基本から資本市場の今日現在の動向まで、最新の活きた知識とスキルを得ることができます。さらに会社説明会を想定したプレゼンテーション作成と発表の実技を通じて、IRの実務を担う上でのコンセプトワークや留意ポイントをしっかり身につけることができます。講師陣は、関係官庁、取引所、また、財務・会計学などの専門家や、現役アナリスト、IR実務経験者などの予定です。実務者が受講しやすいよう、5月から7月まで毎月2~3回、計10回の講座です。

IRE セミナー (Investor Relations seminar for Executives)

上場企業や上場を目指す企業の経営トップをはじめ、財務担当役員、IR担当役員、およびその候補者を含めた役員・上級管理職クラスの方々を対象としたエクゼクティブセミナーです。

いま、なぜ企業においてIRが重要視されるようになったのか、その経緯と背景、世界の資本市場と主要投資家の現状、財務戦略を進める上での必要な情報・知識、市場から評価される中期経営計画の策定、自社のIRの客観的な評価、さらにM&Aや敵対的TOB、委任状闘争などの有事における企業攻防など、現代の企業経営に不可欠な資本市場とのコミュニケーションに関する最新の知識と方法論を、各界の一流講師陣や各分野のオピニオンリーダーから学ぶことができます。役員・管理職の方々の忙しいスケジュールを考慮して、当講座は8月の3日間の集中講座としました。

IROワークショップとIREセミナーの両講座を受講することも可能です。また、両講座とも、全講座受講された修了者には、早稲田大学ビジネススクールから、IRオフィサー、IRエグゼクティブとしての必要な知識とノウハウを習得したことを証明する終了証が授与されます。



開講にあたって

開講趣旨について

早稲田大学ビジネススクール 教授 花堂 靖仁



過去4年間の講座においては、第1回は「受動的 IR から能動的 IR へ」、第2回は「転換点を迎えた IR 活動」、第3回は、「企業戦略としての IR」、第4回は「企業の持続的成長を目指す IR」をテーマにし、関係者の協力を得て IR エグゼクティブ講座を開催して参りました。自ら IR の精神・知識・スキルにたしなみ、自社の経営に貢献しようとした経営陣や財務担当役員へのニーズに応え、また IR の実務経験を活かして IR オフィサーとしてのキャリアアップを志向する企業人のニーズに応えることで、受講者および関係者から高い評価を得ることができました。

また、当講座の入門編を兼ねて、2年前から、わが国資本市場の実態に照らし、上場企業でありながらその企業価値が資本市場で適確に評価されていない発行体、あるいは IR プロフェッショナルを目指す企業の実務者を対象として、IR の基本を学びつつ機関投資家の投資ユニバースに入れたい企業における IR のあり方に焦点をあてた講座を特に前半に集中させ、前半のみを受講を希望する受講者の便宜を図ってまいりました。

本年は、実務者向けにIROワークショップ講座を隔週に、経営陣・役職者向けにIREセミナー講座を3日間集中でそれぞれ開講します

益々、企業経営の中で、IR への期待が高まっております中、本年は、実務者を対象に実務者が受講しやすいよう、ほぼ毎週の10回講座を、IRO ワークショップ(インベスター・リレーションズ・オフィサー用ワークショップ)講座として開講いたします。この講座の最終日にはグループ分けをしてプレゼンテーションのスキルを競っていただく予定です。

自社の IR 活動の執行責任を負う経営陣や IR オフィサーを対象に、他社の方々と交流する中で、自社の IR について語り合い、これからの取組みを構想する機会を持って頂くことが時宜に適っているのではないかと考え、IRE セミナー(インベスター・リレーションズ・エグゼクティブ用セミナー)講座では、これまでとは異なるプログラムを編成いたしました。IR 実務担当者を対象とした IRO ワークショップ講座のプレゼンテーションでの優秀チームには、この IRE セミナー講座の最終日に、プレゼンのスキルを披露していただくことも計画しております。

例えば、IR 担当者には IRO ワークショップ講座を参加し、当担当者の上司が IRE セミナー講座を参加していただく、あるいは、IR のスキルアップを目指す新任 IR オフィサーの方には IRO ワークショップ講座で隔週に受講し、一方で、先輩 IR オフィサーには3日間集中講座に参加して頂いて IR に関する最新情報を入手して頂くといったように、皆様の企業の状況や受講生に合わせた多様な受講の仕方を検討頂ければと思っております。

プログラムを改訂して迎える第5回講座は、企業経営と深くかかわる IR 活動の巧拙によって、いまや、投資家をはじめとする企業のステークホルダーによる企業評価が大きく左右され、その存亡にも影響しかねないところから、本年のテーマを「企業の持続的成長を支える IR」とし、別添のようなカリキュラムを編成いたしました。

基本ステップおよび応用ステップを通して、受講者へ問いかけるポイントは、次の四つに整理できます。

- ① 資本市場における自社のポジションを客観的に分析する。
- ② 事業ドメインにおける潜在的能力のなかから自社のコンピテンシーが何かを事業の時間軸と関連させて明らかにする。

- ③ 自社の価値形成がどのようなプロセスで実現されるかを資本市場関係者に説得的に説明する。
- ④ これらの開示情報を投資家以外の主要なステークホルダーとも共有できるように、それぞれの関心と理解力に応じるようにして提供する。

これを踏まえて、まず、IR オフィサー用ワークショップ講座の基本ステップでは、1)「本当に良いIRとは何か、IR 活動で成功している企業」、2)「活きた情報提供とは、何か」、3)「IR 担当者としてどのようなことを意識しないといけないか」などについて、隔週で受講者との対話を含めながら検討します。

IR エグゼクティブ用セミナー講座では、i)「オーバーフローする企業情報を、活きた情報に甦生するには」、ii)「エンタプライズ・リスク・マネジメントとしての情報開示」、iii)「激変する IR 環境にどう対処するのか」、iv)「持続的成長とIRの接点」の4点に焦点を当てIR 活動の展開を考え、最新の情報や状況を整理し、経営者の視点でIRを評価するという形でまとめることを目標としております。

貴社の IR 活動を戦略的に展開し、貴社の持続的成長に繋げていただくため、是非ともこの機会を活用していただければ幸いです。

過去の受講者のコメント

コマツ 経営企画室IRグループ 主査 渡辺 晃利

IRを担当して1年目の夏、本講座を受講。本講座の優れている点は、なんといっても集中してみっちりIRを学べることです。IRという漠然としたものが、基礎から応用・実践まで体系的に組まれたカリキュラムと各界を代表する講師陣の方のおかげですっきり明確になるのが実感できると思います。また、一緒に学んだ仲間との人脈が現在の業務を進める上での大きな財産となっています。ぜひ皆さんも受講してみたいかがですか。



カリキュラム および 講師

IRO ワークショップ (Investor Relations workshop for Officers)

| | 日程 | 1時限(18:20~19:30) | 講師 | 2時限(19:40~20:50) | 講師 |
|------|----------|---------------------|---------|---------------------|--------|
| 第1回 | 5月7日(水) | 開講にあたって | 花堂 靖仁 | オリエンテーション・受講者紹介等 | 事務局 |
| 第2回 | 5月14日(水) | 資本市場の構造と仕組み | 北川 哲雄 | IRとはどのような企業活動か | 岩田 宜子 |
| 第3回 | 5月21日(水) | 最近の株式市場の動向とIR | 宮永 雅好 | 財務戦略とIR | 松田 千恵子 |
| 第4回 | 5月28日(水) | セルサイドアナリストからみたIR | 松島 憲之 | 自社のIRをどのように向上させてきたか | 君島 邦雄 |
| 第5回 | 6月4日(水) | 優良企業のプレゼンテーションを検証する | 高山 与志子 | 実技:プレゼンテーションの課題発表 | 事務局 |
| 第6回 | 6月11日(水) | 会社法と金商法の施行とIR | 鳥飼 重和 | 内部統制(J-SOX)とIR | 鳥生 裕 |
| 第7回 | 7月2日(水) | 非財務情報開示とXBRL | 小林 / 花堂 | 運用機関からみたIR | 前田 正吾 |
| 第8回 | 7月9日(水) | 企業価値評価の実際 | 西山 茂 | 米国上場日本企業のIR | 本多 淳 |
| 第9回 | 7月16日(水) | 実技:プレゼンテーションの発表 | | 実技:発表/講評と総括 | |
| 第10回 | 7月23日(水) | XBRLの展開 | 吉田 / 花堂 | 修了式と懇親パーティー | |

IRE セミナー (Investor Relations seminar for Executives)

| | 日程 | 時間 | 講義内容 | 講師 | |
|-------------------|----------------------------|-------------------|---------------------------------|-----------------------|--------|
| 第1日 | 8月21日(木) | 1時限 (9:30~10:40) | オリエンテーション・開講にあたって | 事務局・花堂 | |
| | | 2時限 (10:50~12:00) | 日本企業のIRの現状・よいIRとは | 岩田 宜子 | |
| | | 昼食 | | | |
| | | 3時限 (13:00~14:10) | 最近の株式市場の動向とIR | 宮永 雅好 | |
| | | 4時限 (14:20~16:00) | 株式会社はどこへ行くのか | 上村 達男 | |
| | | 5時限 (16:10~17:10) | IRを活かす企業経営の実践 | 浦野 光人 | |
| 第2日 | 8月22日(金) | 6時限 (17:40~18:50) | 企業価値創造のためのリスク対応 | 稲岡 稔 | |
| | | 1時限 (9:30~10:30) | 資本市場規制・金商法をめぐる最近の動向 | 大崎 貞和 | |
| | | 2時限 (10:40~11:40) | セルサイドアナリストからみたIR | 佐々木 泰行 | |
| | | 3時限 (11:50~12:30) | 非財務情報のコミュニケーション | 芝坂 佳子 | |
| | | 昼食 | | | |
| | | 4時限 (13:00~14:10) | 機関投資家からみた企業の情報開示と改善点について | 蔵元 康雄 | |
| | | 5時限 (14:20~15:30) | 会社法の施行とIR・M&Aの新局面 | 鳥飼 重和 | |
| 第3日 | 8月23日(土) | 6時限 (15:40~16:50) | 企業財務とIR | 高橋 文郎 | |
| | | 7時限 (17:00~18:00) | コーポレートガバナンスの現在 | 長友 英資 | |
| | | 1時限 (9:30~10:40) | 知的資産経営への展開と非財務情報開示 | 花堂 靖仁 | |
| | | 2時限 (10:50~12:00) | 企業年金連合会から企業に期待するもの | 矢野 朝水 | |
| | | 昼食 | | ランチョンセミナー:エグゼクティブの服装学 | 古沢 めぐみ |
| | | 3時限 (13:00~14:10) | 敵対的M&Aと企業防衛の実務・株主総会 | 高山 与志子 | |
| | | 4時限 (14:20~15:30) | インフォメーション・ミーティングからみえてくるIR活動の問題点 | 北川 哲雄 | |
| 5時限 (16:00~17:10) | 全員討議:IROワークショップ優秀プレゼンを評価する | 花堂 靖仁 | | | |
| 6時限 (17:30~19:30) | 終了式と懇親パーティー(於:リーガロイヤルホテル) | | | | |

【講師陣(予定)】

北川 哲雄 青山学院大学大学院
 高橋 文郎 青山学院大学大学院
 芝坂 佳子 あずさ監査法人
 鳥生 裕 あずさ監査法人
 長友 英資 (株)EN アソシエイツ
 矢野 朝水 企業年金連合会
 小林 利典 金融庁
 本多 淳 ジー・アイアール・コーポレーション(株)
 前田 正吾 シュローダー証券投信投資顧問(株)
 稲岡 稔 (株)セブン&アイ・ホールディングス
 君島 邦雄 元テルモ(株)
 吉田 幸司 (株)東京証券取引所
 鳥飼 重和 鳥飼総合法律事務所

浦野 光人 (株)ニチレイ
 松島 憲之 日興シティグループ証券(株)
 大崎 貞和 (株)野村資本市場研究所
 蔵元 康雄 フィデリティ・ジャパン・ホールディングス
 古沢 めぐみ 株式会社プロフェッショナルイメージ
 松田 千恵子 ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン(株)
 佐々木 泰行 リーマン・ブラザーズ証券(株)
 上村 達男 早稲田大学大学院法務研究科
 西山 茂 早稲田大学ビジネススクール
 花堂 靖仁 早稲田大学ビジネススクール
 宮永 雅好 アイ・アール・ビー(株)
 岩田 宜子 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
 高山 与志子 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)

※:講師は都合により変更の可能性もございます (順不同 敬称略)



開催概要

| | Investor Relations workshop for Officers (IRO ワークショップ) | Investor Relations seminar for Executives (IRE セミナー) |
|-----------|---|---|
| 【 期 間 】 | 2008年5月7日～7月23日 水曜日(全10回) | 2008年8月21日(木)～8月23日(土) |
| 【 定 員 】 | 40名 | 16名 |
| 【 受講料 】 | ¥126,000- (税込)* | ¥252,000- (税込)* |
| 【 主 催 】 | 早稲田大学ビジネススクール(早稲田大学 商学大学院総合研究所 WBS研究センター) | |
| 【 会 場 】 | 早稲田大学ビジネススクール(早稲田大学 商学大学院総合研究所 WBS研究センター) 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-21-1 早稲田大学西早稲田ビル TEL: 03-3200-2436 | |
| 【 申込方法 】 | 添付の申込用紙にてお申込ください。 | |
| 【 お問合せ先 】 | 早稲田大学 IRO 養成講座事務局 (ジェイ・ユース・アイアール株式会社内) 〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-10-13 ARCHE 麹町 2F Tel.03-3512-0907 Fax.03-3512-0908 waseda_iro@j-eurusir.com http://www.j-eurusir.com | |

※…両方受講して頂く場合、受講料は¥336,000-となります。

早稲田大学早稲田キャンパス周辺マップ



受講申込書 Fax:03-3512-0908

早稲田大学 IRO ワークショップ / IRE セミナー

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社(早稲田大学 IRO 養成講座事務局) 行

以下の同意文にご同意いただいた上で申込フォームへご記入ください。

- ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社は、早稲田大学ビジネススクールから本講座に関する運営事務を受託しております。そのため、「申込書」および講座受講時にご提供いただいた個人情報は、主催元である早稲田大学と事務局のジェイ・ユーラス双方で管理させていただく旨、予めご了承ください。
- ここでご記入いただきました個人情報は、当セミナー運営及び関連講座(フォローアップ講座等)のお知らせ等に使わせて頂くものであり、それ以外のものは同意なしに一切第三者に開示・提供することはありません。(法令などにより開示を求められた場合を除く)
- 下記の個人情報で開示を望まない項目がございましたら、ご記入なさらず空白のままです。但し、その際には事務手続き上支障が出る可能性もございますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。
- 個人情報の訂正・抹消をご希望の場合は、下記事務局までご連絡いただければ、遅滞なく訂正・抹消を行います。
- そのほか個人情報についてご質問等ございましたら、下記事務局までお問合せください。

下記講座の受講を申込みます。つきましては受講料振込み要領を送ってください。

(ご希望の講座に☑して下さい。)

IRO ワークショップ

IRE セミナー

両講座

| | |
|--------|---|
| 貴社名 | |
| ご所属・役職 | |
| ご芳名 | |
| 所在地 | 〒 |
| TEL | |
| FAX | |
| e-mail | |

お問合せ先:ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社(担当者:岩田・小松)

TEL: 03-3512-0907

FAX: 03-3512-0908